

## 馬毛島新基地建設強行に抗議する市民集会集会宣言(案)

11月11日、岸田新内閣発足の翌日、防衛省は馬毛島新基地建設のための仮設プラントの入札の公告を強行しました。これは、馬毛島新基地を建設する時の生コンクリートを作るプラントです。この設計と施行を入札するもので、基地建設の工事開始そのものです。

馬毛島新基地建設は、防衛省自身が認めてきたように、未だ計画策定の段階です。現在、この計画の環境影響評価が行われています。さらに、この基地建設計画はまだ国権の最高機関である国会に提案されていません。もちろん、建設のための予算措置もなされていません。また、地元である鹿児島県西之表市では、市長が反対を表明しており、住民も賛否が分かれている状態です。防衛省は、計画について、丁寧な説明を行ってゆくとたびたび言明してきました。

仮設プラントについては、11月9日、防衛省は鹿児島県と西之表市に11月中に入札を公告すると通告してきました。県知事も市長も直ちに異を唱えました。特に西之表市長は記者会見を行って強く抗議しました。防衛省の参事官は、市長の不同意を受け、持ち帰って検討すると答えていました。

しかし、通告からほんの2日後の13日、プラントの入札の公告を強行しました。これは、民主主義のルールも地方自治の原則も無視した、防衛省独裁とも呼ぶべき暴挙です。岸防衛大臣や、菅前総理、そして岸田現総理の「国民の声をよく聞き、丁寧に対応する」との言に真っ向から反する行為です。もし、これが大臣や総理も承知の上での決定であれば、もはやこれは民主主義国家では無く、独裁国家の仕業です。

防衛省と政府は、ただちにこの入札公告を取り下げて下さい。そして、新基地建設計画について国会できちんと論議してください。地元にも、丁寧に説明してください。きちんとした環境影響評価を行ってください。もし、国会と地元自治体の合意が得られないときは、計画そのものを見直してください。

私たちは、今回の防衛省の馬毛島新基地建設のための仮設プラントの入札公告強行に強く抗議し、政府と防衛省にこの公告の取り下げを強く要求します。

2021年11月27日 馬毛島新基地建設強行に抗議する市民集会